

高川山マイナーハイキング 山行報告書

【山 域】富士山前衛

【日 程】10/5(土) 日帰り 晴れ時々曇り

【参加者】CL 大木、齋藤、鈴木憲、柘植(記録)

【コストム】初狩駅 9:30→12:15 高川山 12:35→14:10 初狩駅



この土日は長野方面の計画であったが、天気予報で断念。参加メンバーもリセットして大木さんリーダーで中央線沿線の高川山に行くこととなった。高川山は非常にポピュラーで初狩からの一般ルートはすでに登っている人が多いので、昭文社地図を見てみんなが辿ったことのない西方からのルートで行ってみることにした。久ぶりの電車山行で豊田駅では小金沢連稜に行く菊池さんパーティに出会い、歓談しながら現地に向かう。初狩駅から南に延びる林道をたどる。林道が終わったところから地図が正しければ沢を渡ってさらに南下するはずだが、道標はもちろんそのような踏み跡は全くないので、右手に伸びる踏み跡に入る。しばらく行くと女性二人組がおり、ここで間違いのないのだと思いこむ。我々が先行するが、どうも向かう方向がおかしい。後から追いついてきた女性二人組もそのような認識のようで、二人で進路について相談中。この付近は昭文社地図でも？マークがついており、かなり不明瞭地帯のようだ。さきほどの林道終点まで戻るという案もあったが、特別危険でもないの、山肌をトラバースして狙う尾根に向かうことにする。ヤブはそんなにきつくないし、傾斜もゆるいので、途中で小沢を3本ほど超えてかなり平坦なところで一本とる。よく見ると古い木橋や赤テープがある。どうやらこのあたりが怪しいながらも地図の破線のところではという結論になり、向峠と思われる方向に進むと次第に踏み跡もハッキリしてきて向峠に登り着くことができた。さきほどの女性二人組は途中から右手の方向に登っていったとのことなので、大岩と向峠の鞍部方面に行ったものと思われる。ただこの先で女性二人組に再び会うことはなかった。

向峠からは踏み跡というより登山道といってよいレベルの道となり、快調に進む。昭文社地図には「カンバ沢ノ頭」とか「羽根子山」とかいう名前のピークがあるのだが、標識は見当たらなかった。

た。羽根子山からは間違って尾根を直進してしまうが、すぐ誤りに気付いてリカバリーする。ここから大下りでまた登り返すのかと思うとウンザリであったが、最後の頑張りで12時すぎに高川山の山頂に着くことができた。山頂はさすが人気の山で大勢のハイカーで賑わっていた。我々も大休止したいところだが、日影がなく暑いので、行動食を口にして写真を撮ってさっさと下山に入る。初狩駅まではメインルートなので、往路の苦勞がウソのように簡単に初狩駅に着くことができた。お手軽ハイクの山もちょっとルート工夫すれば十分楽しめるということを実感した一日でした。



豊田駅で菊池Pと遭遇



ようやく明瞭な踏み跡に出て一安心



高川山の山頂
遠くには甲斐駒の山頂も見えた



推定：
中央 大室山、
右手 御正体山、
最右 文台山(ケツ山)